

入ゼミ案内

奥 健太郎 研究会（2023 年度）募集要項

1, ゼミの内容

本研究会は、日本の近現代政治史、その中でも昭和戦前・戦後期（一部平成期を含む）を中心に日本政治史を研究します。具体的には、以下のテーマに関連する本、論文を輪読したいと考えています。

- ・戦前：日中・太平洋戦争、政党政治の盛衰、軍部の台頭、戦時体制下の日本社会
- ・戦後：アメリカの占領政策、自民党政治の発展、55 年体制の成立とその崩壊、民主党の結成と成長、小選挙区制導入による日本政治の変化
- ・時代横断的なテーマ：議会制度の戦前と戦後、政官関係の戦前と戦後

2, 2 年間の流れ

（2023 年度は着任 1 年目ですので、変更もあると思いますが、大体次のような流れを目指しています）

（1）3 年生

・春学期

上記のテーマに関する文献を輪読して、基礎を固めたいと思います。月に 1 冊程度を予定しています。授業の進め方としては、担当者が論点を準備し、授業中はその論点について議論を重ねたいと思います。また、三田祭でとりあげるべきテーマを考えたり、それに関する文献も読んでいきたいと思います。

・夏合宿

三田祭発表として、政治にかかわった方々のインタビューの成果を発表する予定です。夏合宿では、そのための事前準備が活動の中心となるはずです。

・秋学期

一定のテーマを定め、複数の方からインタビューを実際に行いたいと思います。そのための予習として本の輪読も必要になります。三田祭ではその成果を発表したいと考えています。

三田祭後は卒業論文に向けての準備に入ります。論文の書き方、資料収集の方法などを学んでいきます。

（2）4 年生

・卒業論文のための調査活動を行い、その成果をゼミの中で報告してもらいます。

・卒業論文はレポートではないので、オリジナリティーが求められます。そして、そのためにはテーマ設定が重要になります。しかし、そんなに固く考える必要はありません。自

分の進みたい業界、出身地、趣味、昔から気になっている人物等、自分の接点（ないしこだわり）のある事柄を、日本政治史の文脈に関連づけて、テーマ設定すればよいのです。きっと楽しく、かつ独創性のある卒業論文になると思います。

開講曜日時限：春・秋ともに、水 2 時限または水 4 時限（予定）

3. 評価方法

ゼミでの発表、議論への参加度を見て総合的に評価します。

4. 入ゼミ課題・選抜方法

1月31日23時59分までに、下記の①、②を添付したメールを、次のアドレスまで送付してください。

okukentaro2023●gmail.com（←●は@に変換）

※ 2、3日以内に受領メールをお送りします。

①自己 PR:所属学部(学科)・学籍番号、氏名、メールアドレス(慶應のアドレス xxx@keio.jp)、志望動機、自己 PR、ゼミへの希望などを、A4で2枚程度で、できるだけ具体的に書いてください。

② 以下の本のうち、いずれか1冊を選んで、4000字程度で書評を書いてください。

清水唯一朗『原敬』（中公新書、2021年）

小山俊樹『五・一五事件』（中公新書、2020年）

福永文夫『大平正芳』（中公新書、2008年）

原彬久『戦後史のなかの日本社会党』（中公新書、2000年）

大山礼子『日本の国会』（岩波新書、2011年）

①②を期限内に提出した応募者に対して、統一選考日に面接を行います。

5. その他

・選考方法等、何か質問がある人は、上記のメールアドレスに連絡をしてください。ただし慶應のアドレスから送信してください（応募の際も）。

・ゼミ定員としては15名程度を予定しています。

・他学部からの応募、留学から帰ってくる方の応募は特に問題ありません。

・ゼミで使用する文献は、4で取り上げたようなコンパクトで、読みやすく、深みのある文献を使用する予定です。